



第36回 化研病院けんこう教室

一般・消化器外科領域におけるヘルニアの治療 ～食道裂孔ヘルニア・鼠径（そけい）ヘルニアの治療について～

日時 平成27年1月17日（土）

午前の部 10:30～11:30

午後の部 14:00～15:00

※講演のほか、リハビリ体操、血圧測定、健康相談会を行います。

場所 化研病院 研究棟2F 大会議室

参加費 無料（当日参加可）

定員 各回150名（定員になり次第、締切りとさせていただきます）

お申し込み・お問合せは ☎ 047(375)1111（代表）まで

～講師紹介～

山田 英夫 消化器外科統括部長 国際医療福祉大学教授



島根医科大学（現島根大学）卒業、医学博士

前東邦大学医学部教授、元国立佐倉病院外科医長

日本外科学会認定指導医・外科専門医、日本消化器内視鏡学会認定指導医・消化器外科専門医、日本消化器外科学会認定医

ヘルニアとは、体内の臓器などが本来のあるべき部位からはみ出した状態を指します。一般・消化器外科領域では、腹腔内からはみ出した状態の食道裂孔ヘルニアと、鼠径（ふとももの付け根部分）ヘルニアが多くみられます。食道裂孔ヘルニアは、胃液の逆流を引き起こしやすく、胸焼けを主な症状とする逆流性食道炎を起こしやすい疾患です。また、鼠径ヘルニアは、鼠径部の膨らみがみられ、腸が組織の間隔から飛び出し、そのまま腫れてもとに戻らなくなった場合、緊急手術が必要になることもあります。

これらの疾患の症状と治療方法、とくに内視鏡手術について、わかりやすくお話しをさせていただきます。

国際医療福祉大学臨床医学研究センター

公益財団法人化学療法研究会

化学療法研究所附属病院

〒272-0827

千葉県市川市国府台6-1-14 TEL: 047 (375) 1111 (代)



協力：健都会（市川市WHO健康都市推進市民の会）